



居場所のない子の
HP版

かじか NEWS

2023年度3月
教育支援センター
「かじか」
第13号
☎22-0586

「かじか」の2023を振り返って(〜♪) ◆

5つの活動をとおして、子どもたちが落ち着いて活動や学習に取り組めるようになりました。今後も子どもの「やりたい」という気持ちを大切にしていきたいです。



2023年度も市教委の方針「教育支援センターの機能拡大に向けて ～居場所のない子ゼロ～」のもと、次の5つの視点で取り組んできました。概要をお伝えします。

- ①「教育支援センター」としての機能の充実
- ②「相談支援センター」としての機能の充実
- ③「学習支援センター」としての機能の充実
- ④「不登校対策センター」としての機能の充実
- ⑤「教職員研修センター」としての機能の充実

①「教育支援センター」としての機能

主に共同活動と自主活動の中で、個別指導と集団指導を行う。



SST 活動



芋ほり

その他…

- ・音楽活動・屋内運動・調理活動
- ・創作活動・農園活動・販売学習
- ・読み聞かせ等を月に一度実施。



茶道体験

④「不登校対策センター」としての機能

「かじかニュース」の発行、アウトリーチの実施、運営会議の実施。

- かじか NEWS の発行
 - ・学校発行～月1回 (A4版1枚)
 - ・HP版 ～学期1回 (市のHPにて)
- アウトリーチの実施
 - ・火曜日、木曜日の午後を中心
- 運営会議の開催 (月1回)
- ・関係機関の参加をいただいて実施

②「相談支援センター」としての機能

保護者会、カウンセリング、学校訪問を実施する。

- 保護者会～「かじか例会」(毎月1回第3金曜日～)
 - ・昨年6月から始まった「かじか例会」。少人数で「悩みを語り聞きあい、一緒に考えていく会」をめざし年間9回の開催でした。保護者のつながりも深まり、保護者だけの会「ひだまり」も発足しました。今年度は1回の開催でした。
 - ・参加者：通室生のお家の方、通室していないが通室を考えているお家の方、臨床心理士やSSWの先生など。
- カウンセリング (月2回)
 - ・臨床心理士の先生をお招きし月2回実施
- 見学と体験通室
 - ・面談の際の活動体験と体験通室の実施。



「相談室」も準備しています

③「学習支援センター」としての機能

教育課程に沿った学習支援、個別の支援シートの活用。

- 教科書や参考書に沿って
- 自作の教材を使って
- 「タブレット」を活用して
- 学校の課題や問題を使って
- 英語活動、プログラミングなど



学習の様子

⑤「教職員研修センター」としての機能

事例検討会を中心に、市SSW研修等実施。

- ☞事例検討会では
 - 毎週第3火曜日に実施
 - 2月時点で、9回実施
 - PCAGIP法による運営
 - ・SSWを中心に役割分担
- 事例提供者、ファシリテーター、記録者等 (記録は還元)
- ・担任 (6人) やSCなど参加



市SSW研修会

